

PRESS RELEASE



ピースボート災害ボランティアセンター
東京都新宿区高田馬場 3-13-1-B1
TEL: 03-3363-7967
FAX: 03-3362-6073
MAIL: kyuen@pbv.or.jp
URL: pbv.or.jp/

2015年6月10日

女川を知る、好きになる 6/14(土)映像で女川を体感する、まち歩き用コンテンツの提供を開始します!

一般社団法人ピースボート災害ボランティアセンターは一般社団法人女川町観光協会とともに映像で女川の魅力、過去、未来を体感する、まち歩き用コンテンツ「女川の記憶と今、そして未来」の提供を開始します。

2015年3月21日、震災により不通となっていた「女川駅」が開通。そのニュースは、全国ネットのテレビでの特集やJR東日本の各駅でポスターが貼られるなど大きく取り上げられており、女川町への電車での来訪者が増加しています。しかし、現在女川町は土盛、建設工事が急ピッチで進められている最中であり、駅周辺には来訪者が「訪れる場所」、「何かする事」が非常に少ないのが現状です。

そこで、今の女川を訪れてくださった方々に「訪れる場所」そして今後「訪れたい場所」を提供することを目指し、女川町の震災前の姿、震災時の様子とともに女川の魅力と未来の姿が想像できる映像を提供する「まち歩きコンテンツ」を提供することとなりました。

町の約80%が全壊半壊してしまった女川町。震災前の写真をすべて流されてしまった方も多く、写真集めには苦労を重ねました。震災前に町をすでに出ていた方、町民の皆さんなどから深い想いを持ってご自身の写真を本コンテンツに託していただき、貴重な写真を集めることができました。

「過去」の写真を綴った映像と今後のストーリーを本コンテンツを通じて提供すること、また町の各所を訪れていただくことで、来訪頂いた皆様に「現在」の女川の魅力を知り、そして「未来」への想像力を掻き立てていただき、「来てよかった」「また来たい」という気持ちを持っていただくことを願います。

■事業内容

- ・まち歩きコンテンツ「女川の記憶と今、そして未来」の提供
震災前後の女川の歩み、新旧女川駅の比較、女川の四季や景色の魅力、人々の努力など、今は何もないように見える場所を持つストーリーを体感できる5本の映像集(各1分程度)
- ・対象者:女川駅に電車で来た来訪者
- ・エリア:女川駅徒歩30分圏内の町内5箇所(女川駅他4箇所)
- ・提供期間:2015年6月14日~2015年12月予定(駅前プロムナードオープンまで提供)

■利用方法

- ①来訪者自身のスマートフォンにアプリをダウンロード
- ②女川町内5箇所を地図とともにめぐる。
- ③各場所に掲示されているポスターにスマートフォンをかざすと動画がスタート。

●このリリースに関するお問い合わせは

ピースボートセンターいしのまき(石巻市立町1丁目5-21)
TEL: 0225-25-5602 MAIL: kyuen@pbv.or.jp